

---

◎町長行政報告

○議長（稲葉昭宏君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 齋藤文彦君 登壇）

○町長（齋藤文彦君） 平成25年松崎町議会第2回定例会の開会にあたり謹んで行政報告を申し上げます。

昭和53年度からスタートした当町の花とロマンのふる里づくりは歴代の町長によって引き継がれ、郷土を愛し、心に想うとともに歴史と伝統を守り、更なる新しいふる里づくりとなって押し進められてきました。

この度、「日本で最も美しい村」連合への加盟は「平成の花とロマンのふる里づくり」の更なるステップアップであるにとらえ、加盟申請をいたしました。この6月3日、4日に現地への資格審査が行われ、8月下旬に加盟の可否が決定される予定となっておりますので、9月の定例会で良い報告が出来るよう願っているところでございます。

今回の審査を通して審査員の先生方からいただいた貴重な意見を参考に「平成の花とロマンのふる里づくり」による一人ひとりが主役となり、やすらぎと感動のあるまちづくりに向けて努力をまいります。

次に、3月以降の動向について何点かご報告いたします。

まず、1点目は、地域の安全・安心に直接関わる下田地区消防組合発足と下田警察署、松崎分庁舎がそれぞれこの4月1日から新たな組織としてスタートいたしました。

組織の効率化による機動力をもって、これまで以上に地域の安全・安心の確保に努めてまいります。

また、4月3日には、長泉町との間で災害時の支援や防災対策の情報交換を行い、必要に応じて復旧に向けた職員の派遣や一時避難施設や資機材、生活物資の提供等を行う災害時相互応援協定を締結いたしました。

当町では、広域での協定以外では初の行政間による災害時相互応援協定となりました。これを機会に防災面のみならず、さまざまな分野で交流が広がることを期待するところです。

次に、県道223号の認定についてであります。去る4月12日に清水港、土肥港を結ぶ全長約30キロメートルが観光に特化した海路として県道に認定されました。海上の県道と駿河湾越しに見える世界遺産候補の富士山、伊豆半島沿岸一帯を取り巻くジオパークなど、話題性も豊富

なことから観光面などへの活性化や地域間に人的交流などが期待されるところであります。

続いて、長八美術館入館者 400 万人達成についてであります。5 月 14 日に美術館が昭和 59 年にオープンして以来 28 年 10 カ月で入館者 400 万人を達成することができました。開館当初は順調に入場者数も伸びておりましたが、景気の後退、大規模災害、旅行形態の変化等により入場者数も年々減少してきましたが、関係する多くの機関の協力や職員の努力でようやくたどり着いた記録です。

今後も引き続き職員一同次の目標に向かって鋭意努力を重ねてまいりますので、この場をお借りし変わらぬご支援をお願いいたします。

次に、先日の 5 月 21 日に他の出張に併せて最新工法の津波避難タワーの視察をしてまいりました。

従来の鉄骨造りと違って、プレストレスト・コンクリートで構造物本体の高さは 10 メートルと 12 メートルの 2 棟を視察することが出来ました。

これを建設した掛川市がこの構造を採用した理由として、強度、建設・維持管理コスト、耐用年数、平常時の活用など様々な角度から検討した結果とのことで、今年度当町で予定している津波避難タワー建設に向けて大変参考になりました。

最後に、6 月 9 日に開催された静岡県消防協会賀茂支部消防操作法大会において、当町消防団の 1 分団 3 小隊が見事にポンプ車操法の部において優勝いたしました。長きにわたる厳しい訓練を経て、最高の結果となり 9 月に予定されている県大会への実力の伴った郡の代表として出場することになります。

団員の皆さんには、引き続き厳しい訓練となると思いますが、県大会でも更なる健闘を期待するところです。

本日は、町営観光施設の入館状況について他 3 件についてご報告いたします。詳細は担当課長をして申し上げます。

○企画観光課長（山本 公君） それでは、企画観光課から 3 件のご報告をさせていただきます。

まず、本日追加で配付させていただきました平成 25 年 5 月末町営観光施設の状況（速報）についてからご報告をさせていただきたいと思っておりますので、恐れ入りますが、本日配付の資料をご覧くださいと思います。

5 月分の速報ということで、右側に累計の数が出ております。25、24 年度の比較でご説明をさせていただきますが、

まず、最上段にございますまつぎき荘でございます。582 人の減の 2649 人、伊豆の長八美術

館で716人減の6073人、重要文化財岩科学校でございます。583人減の3948人、明治商家中瀬邸でございます。53人減でございます、4088人となっております。民芸館、三聖苑につきましては、売上の比較で述べさせていただきたいと思います。まず、民芸館でございます。民芸館につきましては、16万7559円減の266万6774円でございます。花の三聖苑につきましては、136万5264円減の451万298円という結果となっております。かじかの湯につきましては90人減で、5156人となりました。

5月単月の状況が左側に書いてございますが、伊豆まつぎ荘、重要文化財岩科学校、道の駅花の三聖苑で減少となっております。

累計におきましては、宿泊、入館、入浴、全施設で減少というようなことでございます。

引き続きましては、資料ナンバー1をお手数をかけますが、ご覧いただきたいと思います。

伊豆まつぎ荘の状況が記載されております。左側に24年度、23年度の比較、右側に25年度、24年度の月間比較ということになっております。

24年度の利益につきましては、左側一番下の方でございますが、マイナスの2611万6000円でございます。昨年度より1707万円改善はされておりますが、依然としてマイナスということでございます。

なお、24年度の詳細につきましては、本議会で決算審議をお願いしておりますので、詳細につきましては、そちらの方でご説明をさせていただきたいと思いますので、省略させていただきます。

各施設の入館、入込状況につきましては先程5月の速報で申し上げましたものが最新となりますので、ここでは4月の収支状況につきましてご報告をさせていただきたいと思います。

右側の中ほどに収益がございます。まつぎ荘でございますが、前年度より収益は464万5000円減少いたしまして、1990万5000円でございます。公債費、減価償却費を按分して加えた費用、下でございますが、昨年度より234万5000円減少いたしまして、2118万8000円となり、利益につきましては、前年度より230万円減のマイナス128万3000円となりました。

2ページ目をお願いしたいと思います。長八美術館につきましては、収支差額がマイナス91万円でございます。マイナスが9000円増加しております。

重要文化財岩科学校につきましては、収支差額1万8000円でございます、前年より3万2000円の改善となっております。

続きまして、3ページをお願いいたします。明治商家中瀬邸でございます。収支差額マイナス20万9000円でございます。昨年より13万2000円改善されているところでございます。民芸館

でございます。収支差額 14 万 6000 円ということで、前年度に比べまして 4 万 3000 円の改善となりました。

最後に、4 ページをお願いいたします。道の駅花の三聖苑でございます。マイナスの 31 万 6000 円でございます、昨年よりマイナスが 29 万 4000 円増加いたしております。

4 月につきましては、重要文化財岩科学学校、民芸館を除きました施設で収支がマイナスとなっております。

今後も誘客キャンペーンあるいは観光宣伝等々、観光関連団体の皆さんと連携をいたしまして、がんばってまいりたいというふうに思いますので、今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。町営観光施設の入館状況につきましては、以上でございます。

引き続きまして、資料ナンバー 2 をお願いしたいと思います。花の咲くまち推進事業の実績でございます。

なお、2 ページ目に 10 といたしまして、来場者数がございます。平成 24 年のカウント日数「42」と記載がございますが、恐れ入ります。「41」ということでご訂正をお願いしたいと思います。24 年「42」と記載がある部分につきましては、「41」ということでお願いいたします。誠に申し訳ございません。

戻っていただきまして、花の咲くまち推進事業につきましては、平成 12 年度より大規模な花畑を造成しようということで、農閑期の水田を活用いたしまして取り組んでいるわけでございます。規模につきましては、昨年より 1500 平方メートル増えまして、約 5 万 3000 平方メートルということになりました。種子につきましては、昨年同様 6 種類の種を蒔きまして、2 月の中旬から 5 月の中旬まで順次開花しております。

作業工程につきましては、稲の刈り入れ作業等の関係でこれまで 11 月に入ってから作業ということで、少し遅いのではないかとというようなご意見等もございました。極力 10 月中旬に作業ができるように努めまして、10 月の 22 日頃からかかっております。

最初に咲くアフリカキンセンカにつきましては、昨年より 10 日早く 2 月 14 日に開花を確認しまして、以後、開花の状況につきましては町のホームページ等で情報を提供しているところでございます。

2 ページをお願いいたします。2 ページに事業費の記載がございます。報償費、委託料、原材料費で 461 万 5425 円、その他関連経費で 94 万 4115 円、合計 555 万 9540 円でございます、昨年に比べまして、43 万円の増となっております。

来場者数につきましては、平成 25 年につきましてはカウント日数 48 日で 6 万 7000 人という

結果になりました。昨年は雨天等の関係がございまして、カウント日数 41 日で 6 万 1192 人ということでございまして、カウント日数の関係がありますので、単純に比較はできませんが、25 年 1 日あたりの平均来場者数は 1395 人ということで、過去 4 番目の数値となっているところでございます。

また、今年も観光協会で花畑を活用して売店を設置いたしました。併せてイベント等も実施をいたしまして、賑わいづくりを図っているところでございます。

最後に、「日本で最も美しい村」連合の加盟資格審査についてでございます。資料はございません。先ほど町長の方からご報告申し上げておりますが、「日本で最も美しい村」連合の加盟審査につきましては、本年 1 月 16 日、議員会の勉強会におきまして加盟申請につきましてご協議をいただきまして、ご了解をいただいているところでございます。

その後、加盟申請につきまして 2 月 15 日に連合事務局に提出させていただきました。審査につきましては、先ほど町長が申し上げたとおりでございます。6 月 3 日、4 日の両日、机上ヒアリングあるいは現地視察ヒアリングを実施いたしております。

審査結果につきましては、8 月の末に通知をされるということになっておりますので、またご報告をさせていただきたいと思っております。

以上、企画観光課から 3 件のご報告をさせていただきました。

○生活環境課長（斉藤昌幸君） それでは、生活環境課の方から行政報告の 4 番目、公営企業会計平成 25 年 4 月末経営状況について報告させていただきます。

資料ナンバー 3 番の方をお願いいたします。

はじめに、水道事業会計の方でございます。本年度 4 月末、収益の方は営業収益・営業外収益を合せまして 1239 万 2000 円、前年比 43 万 7000 円、3.4 パーセントの減となっております。理由としましては、備考の方に 4 月末現在の有収水量につきましては 8 万 1558 立方メートルで、一般・営業用などのほとんどの分類で減少しました結果、収益減となったわけでございます。

一方、費用の方でございます。営業費用・営業外費用を合せますと 118 万 8000 円、前年比 3 万 3000 円の減でございます。理由につきましては、支払利息の減少ということとなっております。

合計で減価償却及び支払利息等を入れますと費用の合計が 812 万 4000 円、前年比 16 万 9000 円、2.0 パーセントの減でございまして、その結果、差引純利益につきましては、426 万 8000 円、前年比 26 万 8000 円、5.9 パーセントの減となっております。

続きまして、温泉事業会計でございます。

はじめに、収益の方です。本年度、営業・営業外収益を合せますと 521 万 9000 円、前年比 7 万円、1.3 パーセントの減となっております。理由につきましては備考にございますとおり、自家用の開栓が 5 口減少、それから、営業用から自家用への種別変更等がありまして、4 月末で前年比 7 万円の減となったわけでございます。

一方、費用の方でございますけれども、営業・営業外費用が 73 万円、それから予定費用の減価償却を含めまして費用合計が 373 万 9000 円、前年比 4000 円、0.1 パーセントの減ということでございます。理由につきましては、修繕費の減少等によりまして費用減となったわけでございます。

この結果、差引純利益につきましては 148 万円、前年比 6 万 6000 円、4.3 パーセントの減益となりました。

以上、4 月末公営企業会計の状況についてのご報告を終了いたします。

○議長（稲葉昭宏君） 以上で町長の行政報告を終わります。

暫時休憩いたします。

（午前 9 時 21 分）

---